

# 2 年学年だより



吹田市立第二中学校第二学年 2014 年 9 月 17 日発行 NO.16

## ヒカレ 第二学年合唱曲 by ゆず

どこかへ置き忘れた夢 遠い物語  
「叶わない」そうやって自分に 言い聞かせていた

それでも聴こえてくる この声はどこから  
心の奥で鳴り響く

突然突き動かす 抑えきれない衝動  
始まり告げる音何度でも まだ間に合うかな

僕らは新しい光を探しここにいる  
重ねた時よ いつの日にか  
ヒカレ 輝くためこの瞬間  
ヒラケ 未来へ勇敢に行こう

誰かが追いかける夢 僕を追い越していく  
眩しくて目を背けた

本当の気持ちなんて 誰にも言えなかった  
初めて伝えるよ君だけに 聞いてくれるかな

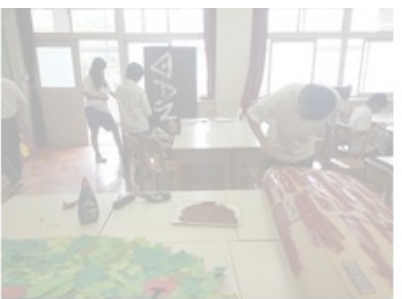
僕らの素晴らしい明日はこの手に託された  
動き出すよ 何かは今  
ヒカレ 夢へと放つ放物線  
ヒラケ 世界を変えるチャンス

ありがとう わかってきた すべて意味になるね

なりたい自分になれるなら もう一度あの日に戻れるなら  
追いかけて儂く消えた 願いの欠片達  
しがみついていたプライドを あっけなく丸めて投げ捨てて  
新たな足音で 踏みならそう

僕らは新しい光を探しここにいる  
重ねた時よ いつの日にか  
ヒカレ 輝くためこの瞬間  
ヒラケ 未来へ勇敢に行こう

閉ざされた 扉 今  
開けて明日へ  
さあ ヒカレ



大曲です。今年は授業もなくみんなとなかなか話す機会が少なくて寂しいんだけど昨日のみんなの合唱を聞いてとても感動してお便りが書きたくなったので書くことにしました。しばしおつきあいください。

僕はみんなと同じ中学生の頃（長崎の中学校）、「学校の先生になりたい」って漠然と生きていました。

でも将来の夢について深く考えるよりも、とにかく目の前のテストや受験を優先して勉強し、東京にある大学に進学しました。大学は夢をかなえるための準備なんて発想はなく、ただ有名な大学、偏差値の高い大学って感じで大学を選んでいました。そして大学生生活も半分を過ぎ就職活動の時期になりました。そのとき、自分は本当は先生になりたかったのに、有名な一流企業に入ることの方が素晴らしい選択だと考えてしまいました。先生になるならそれなりに勉強して長崎の大学に行ってもなれたはずだと考え、自分の夢をいつしか忘れプライドや見栄を優先したのです。

企業に入ってから人事部という部署で一生懸命仕事は頑張ったつもりです。それでもいつの日からか「本当にこれでよかったのか」「教師になって目の前の子どもたちのために全力を尽くしたい」という思いが何回も浮かんできて、「もう俺は企業を選んだんだ。」って何度も自分に言い聞かせるんだけど、教師への思いはなかなか止みませんでした。

この声は心の奥ですっと鳴り響き、「今からでも間に合うかな？」とずいぶん悩みましたが、ついに 26 歳のとき衝動はおさえきれなくなり、通信教育で教員免許を取ろうと思い立ち勉強を始めました。

僕はこのときすでに結婚していたので会社をやめるという選択肢は考えられず、会社を続けながら通信教育で免許をとるしかありませんでした。会社を続けながらの勉強は大変でしたが、30 歳のときようやく教員免許を取得し、この仕事に転職することができました。

実は会社員時代と比べて給料は下がりました。土日ほとんどクラブでつぶれます。でも今は本当に本当に幸せです。

**なぜだと思いませんか？**

目の前のあなたたちが一生懸命頑張るからです。楽しそうに笑うからです。悔しくて涙をこぼすからです。これらはお金なんかでは到底買うことのできない素敵な宝物です。

昨日体育館でみんなが一生懸命歌う姿、楽しそうに歌う姿を見て、ひとりジーンとしてしまい思わず通信を書いてしまいました。（フライングですみません。本番はみんなで心の底から楽しみましょう！）

「夢をかなえる象」、「ヒカレ」 本番まであと 4 日

ハートがこもったいい作品になるといいね。 みんなの夢は何ですか？